

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2024年本屋大賞

# 本屋大賞

## ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『黄色い家』

川上未映子◆中央公論新社

『君が手にするはずだった黄金について』

小川哲◆新潮社

『水車小屋のネネ』

津村記久子◆毎日新聞出版

『スピノザの診察室』

夏川草介◆水鈴社

『存在のすべてを』

塩田武士◆朝日新聞出版

『成瀬は天下を取りに行く』

宮島未奈◆新潮社

『放課後ミステリクラブ』

知念実希人◆ライツ社

『1金魚の泳ぐプール事件』

凧良ゆう◆講談社

『リカバリー・カバヒコ』

青山美智子◆光文社

『レーエンデ国物語』

多崎礼◆講談社

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。

今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。

対象は22年12月1日から23年11月30日の間に刊行された（奥付に準拠）日本の小説（判型問わずオリジナルの小説）

Supported by

NOLTY®

手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。